

ロータリー報告書 Vol.14 川原 夢果
フレッチャー法律外交大学院 (The Fletcher School of Law and Diplomacy)

こんにちは、ボストンのフレッチャー法律外交大学院・修士課程に所属している川原夢果です!11月の近況報告をさせていただきます。

[大学院]

The image shows the cover of a report titled "ASSESSING REFUGEES' UNDERSTANDING OF AND RESPONSES TO U.S. RACE RELATIONS: AN ANALYSIS OF FINDINGS". The cover is primarily orange and white. At the top left is the logo for the Henry J. Leib Institute for Migration & Human Security. The title is in large, bold, white letters on an orange background. Below the title, there is a section titled "REFUGEES IN TOWNS" in bold black letters. Underneath that is an "ABSTRACT" section. At the bottom of the cover, there are logos for "hello neighbor network", "DWELL HOSTLE", "Tufts", and "RiT".

最近はずっと期末に追われています。今期はテスト 1 つに加え論文 5 本を書き上げる必要があり、かなりバタバタしています。その上、私がリサーチアシスタントとして活動している研究プロジェクト Refugees in Towns 関連のタスクも重なり、最近自分の時間もそっちのけになってしまっています...涙 ただ、下書きとして提出した論文が非常に高く評価されたので、この調子で頑張っていきたいです。

上述の Refugees in Towns について、先日、夏のピッツバーグでの研究がついに出版されました！素晴らしいチームに恵まれたからこそ、このような成果を出すことができました。現在はまた別のケースレポートを執筆しており、近日中に出版されるそうです。乞うご期待！

さらに、来季には Refugees in Towns Conference の開催が決まり、オーガナイザーとしても現在活動しています。難民と人種差別をテーマに、様々なバックグラウンドを持つ教授やプロフェッショナルを招待する予定です。期末とイベントの準備が重なりなかなか苦しいですが、チームとともにうまく役割分担していきたいです。

さらに、11月には2回目のFMPGのイベントを開催しました。今回は「難民と働くためのインターカルチュラル・スキル」をテーマに、スージー・イスマイル博士をお呼びし、レクチャーをしていただきました。30-40人ほどの学生が出席し、大きな成功を納めることができました！



[学校外]

アメリカでは、11月といえばサンクスギビング！今年もロータリーのアンさんのお家にお邪魔させていただきました。ターキーやマッシュドポテト、チューニップ、グリーンビーンズなど、全てとてもおいしかったです！なお、私はクラッカーファイというお菓子を焼いて持参しました。ルームメイトがよく作っておりとても美味しいのですが、アンさん一家のウケも非常によかったです。

また、11月にはロータリー・ソマービルクラブの例会にも参加させていただきました。ソマービル市で食と貧困に取り組んでいる方のお話などを伺うことができ、非常に有意義な時間でした。1月には私が研究についてプレゼンを行うことになったので、今からとても楽しみです！

